



遊具の定期点検と日常点検講習会

特集

定期点検には高い専門性と技術力が求められています

今年に入って遊具を利用中の事故が大きく報道されるなど、再び遊具の安全・安心への関心が高まっています。事故防止には利用者への注意喚起も重要ですが、遊具のハザードを取り除くことが大前提となります。国土交通省が平成27年3月に発表した「都市公園における遊具の安全管理に関する調査」によると、設置後20年以上経過した遊具は47.7%、経過年数が不明な遊具が14.9%で、合計すると約63%となります。こうした標準使用期間の目安（鉄製15年、木製10年）を過ぎた遊具は相応の劣化が進んでおり、「遊具の安全に関する規準」が制定される前の遊具であることも考慮すると、定期点検が特に重要になります。

専門的知識を持たない業者による点検で事故が起きています

平成27年4月に業者による点検直後にぶらんこのチェーンが切れ、12歳の女兒が3週間のケガをする事故がありました。安全対策で付けられたチェーンのカバー内の腐食を見落としていたことが原因でした。また昨年5月には、ボルトが危険な状態で飛び出ているにも拘わらず、点検を委託された業者が緊急の対応を要すと報告しなかったため、8歳の女兒が全治6ヶ月の創傷を負った事故が発生し、国土交通省から注意喚起がなされました。このように、委託された業者が専門的知識や技術を持って定期点検を行い、適切な判断を施設管理者へ報告していれば防ぐことができた事故が後を絶ちません。

複合遊具の部品を撤去した後、ボルトが危険な状態で飛び出たまま放置されていた

国土交通省資料を参考で作図

より高い安全性を求めて、常に技術の研鑽に努めています

JPFASSOCIATIONは、遊具の製造メーカーから点検、修繕を中心に行う企業など様々な立場の企業が参加している団体です。それゆえ、遊具製作時

の設計や素材はもちろん、点検・修繕の現場での経年劣化などの情報を長年蓄積しています。そして、安全管理士会を定期的に開催し、よりの確な定期点検を行う専門的知識や技術を全会員が共有しています。また、技術委員会では事故情報や原因などの情報共有を行い、常に技術の研鑽に努めています。

国が唯一認めた点検資格者制度を運営しています

JPFASSOCIATIONでは、公園施設の計画・設計・製造・施工・点検・修繕にかかる協会の専門技術者資格「公園施設製品安全管理士」と「公園施設製品整備技士」のうち、点検部分のみを一般にも公開した資格「公園施設点検管理士」と「公園施設点検技士」の認定・登録を平成27年度より実施しています。これは国土交通省が唯一認めた点検資格者制度であり、これまでの実績や専門的知識、また技術や日常点検講習会などの取り組みが総合的に評価されたものです。



会員が担当する点検対象遊具数は着実に伸びています

都市公園における遊具のうち、平成27年度にJPFASSOCIATIONの会員が定期点検を行った対象遊具数は、全国の都市公園に設置されている遊具の約36%を占めています。

	平成23年度実施	平成27年度実施
全国の都市公園の遊具数*1	458,000台	463,900台
JPF <small>ASSOCIATION</small> 会員が担当した点検対象遊具数	153,247台	165,271台
JPF <small>ASSOCIATION</small> 会員が担当した点検遊具数の割合*2	約33%	約36%

*1: 国土交通省が実施した都市公園における遊具等の安全管理に関する調査より
*2: 小数点以下は四捨五入

また、JPFASSOCIATIONの会員が定期点検を受注した都道府県や市町村の数は563団体で、これは平成28年10月10日現在の都道府県・市町村数1,785団体の約32%を占め、さらなる実績を積み重ねています。

延べ18,000名以上の方が参加した遊具の日常点検講習会

平成28年度開催実績

8年連続で80%以上が満足! 昨年度も高い評価をいただきました

遊具の安全性を確保するためには、安全に対する知識と確かな技術に裏付けられた安全点検の実行が必要です。

このためJPFAでは、遊具の日常点検を担当しておられる方々の技術の向上を図るために「遊具の日常点検講習会(全国版)」を開催しています。

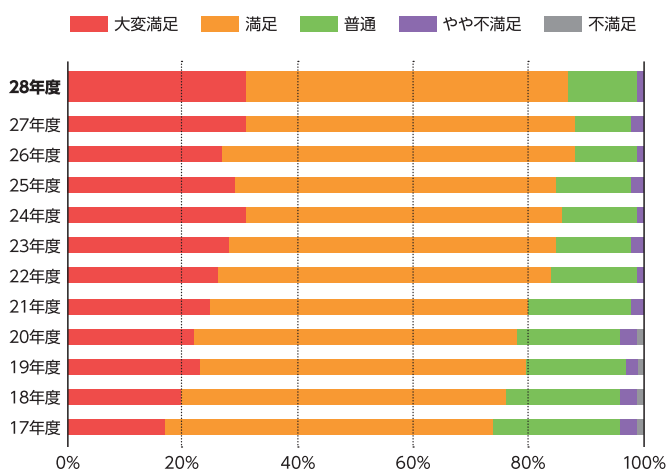
平成28年度は8月31日の札幌を皮切りに、10月25日の吹田会場まで全国8会場で開催いたしました。参加いただいた受講者は870名余りで、内訳をみると半数は自治体関係の方が占め、公益法人や設計・施工会社など指定管理者の立場で参加される方が続きます。少数ながら幼保関係者の方の参加もありました。

また、回答いただいたアンケートの集計結果によりますと、「大変満足」と「満足」を合わせた合計がここ8年間は80%以上となっており、引き続き高い評価をいただいております。

なお、全国版の講習会とは別に、自治体等の皆様から特別に講習会の開催要望があった場合には、JPFAの支部が協力して地方版の講習会を開催しております。平成28年度は全国で8ヶ所開催され、600名余りの方が受講されています。

「遊具の日常点検講習会」は平成17年度から実施していますが、その受講者総数は全国版、地方版合わせて18,000名余りに達しています。JPFAはこれからも様々な形で、日常点検の普及・啓発に努めてまいります。

■ 受講者の満足度(平成17年度～平成28年度)



■ 受講者の属性(平成28年度)

公務員	公団 財団 社団 公社 等	造園土木等 の設計、 施工会社	学校 幼稚園 保育園 等	その他	合計
51	22	14	4	9	100

単位:%

平成29年度開催

今年度も全国で開催を予定しています

平成29年度も「遊具の日常点検講習会(全国版)」の開催を例年通り予定しています。

参加対象は、都道府県や市町村の職員、公園緑地などの関係団体、および福祉、教育関係団体職員などで遊具の日常点検を担当する方です。公園緑地の指定管理者として遊具の日常点検を担当する方も含まれます。

今後の日程は以下のように予定しています。

- 5月下旬:日程&開催場所 発表
- 6月上旬:参加申し込み 受け付け開始

※詳細な情報は5月下旬頃、JPFAのWebサイトに公開いたします。
※各会場は定員になり次第、申し込みを締切ります。

日常点検講習会の詳細やその他の最新情報は
JPFAの公式Webサイトをご覧ください。

<https://www.jpfa.or.jp>

